

# 令和6年度 自己評価結果公表シート

すみれ幼稚園

## 1、本園の教育目標

子ども達一人一人が楽しみながら思考力を高め、創造力や判断力を培う事につとめ、絵画・音楽教育、基礎的な体力づくり等の充実した保育内容で「明るいすなおな子ども」に育っていくよう日々保育に取り組む。

### 本園の教育目標

- 1、明るい豊かな心をもった子ども
- 2、「ありがとう」とすなおな心をもった子ども
- 3、どんなことにも負けない我慢強い子ども

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

認定こども園教育保育要領をもとに自己点検や自己評価を実施する事によって、本園での教育課程の内容を確認し教職員が共通の理解をはかり、教育の質を高める事で教育内容の改善に取り組む事を重点とする。

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
子どもたちを成長させることこそ保育者の役割	普段の保育の中で、グループを作り、子どもたち主体で制作やあそびに取り組む機会をつくる。 また、生き生きとした表情で子どもが活動できるように、保育者が見本となって、ねらいに適した環境設定を行う。
安全や対策、安全点検	子どもたちが使用する前に、遊具やおもちゃの点検を行うことで、安全確認をしっかりと、修理等必要な時は、速やかに報告と対処をした。また、子どもたちが自ら危険回避できるよう、ルールについて繰り返し指導を行った。
特別支援を必要とする子ども	研修への参加、特別支援の先生と話をする機会を設けたことで、支援を要する子どもとの関わり方について深く理解することができた。 今後は、園全体での情報共有を大切にしながら取り組んでいきたい。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

保育や行事の内容、取り組むべき課題について、職員会議等で話し合い、少しずつではあるが、意見を出し合って共通理解を持とうと意識する姿が見られたことはよかったと思う。  
今後は更なる共通理解が課題になった。

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
クラス単位、学年単位、園単位で今までの保育を見直し、子どもの実態を考え、行事の内容を工夫、また改善をしていく。	毎日の朝礼や月会議で保育や行事に向けての取り組みや考えを話し合う機会を設ける。 また、振り返りも大切に、次に生かせるよう工夫していく。
園児一人ひとりの成長に合わせた保育を目標に、支援を要する子どもたちの具体的な関わり方を考え、日々の保育につなげる。	子どもたちの問題のある部分だけに目を奪われずに、発達の全体を見て、その子どもの良さや力を認めていき、ひとりひとりに合った配慮を心掛けて伸ばすように支援していく。
けがや病気について理解を深め、正しい対処をする。	応急処置のマニュアルを再度確認、周知し、共通理解を深める。また、病気についても共有し、詳しい内容を理解して感染予防に努める。

#### 6、学校関係者の評価

教育目標のもと、ひとりひとりを大切にしたいきめ細かい保育がなされ、子ども中心に園づくりがされている様子は大変好ましい。今後も期待して園の成長を確認していきたい。

#### 7、財務状況

今年度はベースアップによる人件費の増加が顕著である。人事院勧告の差額精算により収入も増加したが、人件費率は前年度より5%上昇した。世の流れに沿ったものであるが、今後は教職員の努力に報い、収入とのバランスも注視していくという作業が必要となってくる。

前年度と比較して変化があったものは設備関係費の増加である。エアコンや遊具等の購入であった。これらの支出があってもなお収支はプラスを維持しており、適切な時期に購入されたことがわかる。今後も予算を重要視した経営を続けていきたい。

第二すみれ幼稚園の整理が完全に終わった後は、法人として新しいビジョンの策定が求められる。